

令和 6 年 8 月 5 日 (月)

研究種別	総理研研究	
研究課題名	山梨の自然環境を活かした水稻高品質栽培法の開発	
研究期間	令和 3 年度 ~ 令和 5 年度	
	評価項目	評価点
1	研究目標の達成度	3.4
[評価所見]		
<p>○本成果により地域や品種ごとに、無駄のないケイ酸施用が可能となることは高く評価できる。</p> <p>○水田のケイ酸濃度のマッピングは重要なデータである。</p> <p>○わかりやすい成果であり、これからの農家への早急な普及を期待する。</p> <p>○一部に不十分なデータ収集と解析が見受けられ、ケイ酸の収量増加や品質改善に対する効果の検証が不十分である。</p> <p>○これまでに開発した水稻の高温対策技術と比較し、本成果がどの程度効果があるのかを明確にする必要がある。</p> <p>○農作物の高温対策には、本試験のような対応策と同時に、温室効果ガス削減等の緩和策の試験研究も必要である。</p>		